

WADEM Congress on Disaster and
Emergency Medicine2021
第22回世界災害救急医学会
WADEM2021 東京大会

募金趣意書

会 期：2021年5月10日(月)～5月14日(金)
会 場：新宿 京王プラザホテル
主 催：第22回世界災害救急医学会組織委員会
会 長：大友 康裕（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
救急医学領域長 救急災害医学分野 教授
東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター長）

WADDEM Congress on Disaster and Emergency Medicine2021

第 22 回世界災害救急医学会

「テーマ : Next Steps Toward New Challenges of Disaster Medicine」

WADDEM2021 (WADDEM Congress on Disaster and Emergency Medicine 2021) を 2021 年 5 月 11 日(火)から 14 日(金)までの 4 日間にわたり、東京で開催させて頂くことになりました。会場は京王プラザホテルです。東京都の中核機能を担う都庁も置かれる中心都市「新宿」で、世界の災害医療を担う各国の要人達を迎えます。

World Association for Disaster and Emergency Medicine (WADDEM) は、国際的な視点で災害対応をはじめとして、公衆衛生施策、健康危機管理等の世界レベルでの向上と各国間のより強い連携を目的とした学術団体です。世界約 60 カ国の災害医療の中心を担うエキスパート・実務者・研究者により組織されています。1976 年 10 月 2 日に the Club of Mainz として創設され、以降 2 年に 1 度、世界中で学術集会を開催しながら多くの災害医療に纏わるエビデンスを世に提案し、現在の世界的な災害医療の潮流を形成しています。前回の WADDEM2019 大会は、ブリスベン (オーストラリア) で開催され、世界 50 カ国から 700 名を超える参加者を集めて、成功裏に終了しております。

近年、世界中が様々な災害に見舞われています。地球温暖化をはじめとした気候変動に伴う自然災害の増加に加え、世界各地での移民・難民の急増などにより、毎年、世界で約 1 億 6 千万人が被災し、約 10 万人の命が奪われるとともに、約 400 億ドル以上の被害額が発生しています。これは最近の 10 年間をみると、1970 年代に比べて、発生件数、被災者数ともに約 3 倍に増加しています。災害に対する脆弱性を減らし、災害による健康被害を軽減していくことは国際社会の最重要課題の一つです。

中でも日本は世界に類をみない災害大国です。1995 年の阪神・淡路大震災、2011 年の東日本大震災と未曾有の被害をもたらした大災害を経験し、災害医療体制を医療面・制度面など様々な側面から変革を繰り返し進化して来ております。そのレベルの高さは、世界中から注目されております。今回の東京における学術大会は、わが国の災害医療に関する様々なノウハウや優れた装備品を、世界の災害医療の専門家に紹介する貴重な機会となります。またオリンピック・パラリンピックや万博を始めとした国際的イベントが日本でも多く開催されるようになり、テロや CBRNE 等の人為災害による被害も懸念されています。世界的にもテロの発生は急増しており、テロ被害者への医療提供は、本学術大会の重要なテーマとなります。

本学術大会には国際的に活躍されている海外の研究者が多く参加します。また未来を担う若い研究者の国際的交流と研鑽の場となるよう多様なワークショップを企画し、多くの演題が発表されます。本学術大会が日本に留まらず世界の災害医療の向上と未来ある研究者の育成に貢献できるよう尽力して参る所存です。ご協力・ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

第 22 回世界災害救急医学会組織委員会

組織委員長

大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
救急医学領域長 救急災害医学分野 教授)

組織副委員長

小井戸 雄一(独立行政法人 国立病院機構 本部
DMAT 事務局長)



会議の概要

1. 会議の名称とテーマ
 - 1) 会議の名称
英文：WADEM Congress on Disaster and Emergency Medicine2021
和文：第22回世界災害救急医学会
 - 2) 会議のテーマ
「Next Steps Toward New Challenges of Disaster Medicine」
2. 主催・併催機関などの名称
 - 1) 主催
第22回世界災害救急医学会組織委員会
World Association for Disaster and Emergency Medicine
 - 2) 併催団体
内閣府(予定)、厚生労働省(予定)、東京都、公益財団法人東京観光財団、日本赤十字社、東京医科歯科大学、Asia Pacific Conference for Disaster Medicine、一般社団法人日本災害医学会
 - 3) 協力
独立行政法人国際観光振興機構
 - 4) 協賛(予定)
アイエヌアイ株式会社、ALCARE株式会社、旭化成株式会社、伊藤忠商事株式会社
エアーストレッチャー株式会社、大塚製薬株式会社、科研製薬株式会社
株式会社オートワークス、株式会社シゲマツ、株式会社NTT、株式会社NTT DATA
株式会社ワコー商事、コニカミノルタ株式会社、センチュリーメディカル株式会社
テルモ株式会社、テレフレックスメディカルジャパン株式会社、
トヨタテクノクラフト株式会社、東レ株式会社、日医工株式会社、
日本光電工業株式会社、日本船舶薬品株式会社、フィリップス
フクダ電子株式会社、富士フィルム株式会社、へるす出版
3. 開催期間
2021年5月10日(月)―5月14日(金) (本会議5日間)
4. 開催場所
新宿 京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2丁目2-1
電話 03-3344-0111
ファックス 03-3345-8269

5. 主催責任者

第 22 回世界災害救急医学会組織委員会

組織委員長 大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
救急医学領域長 救急災害医学分野 教授)

組織副委員長 小井戸 雄一 (独立行政法人 国立病院機構 本部
DMAT 事務局長)

実施責任者名 (事務局長)

赤星 昂己 (独立行政法人 国立病院機構 本部 DMAT 事務局)

事務局

〒108-0073

東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8F

電話：03-6369-9995 ファックス：03-3453-1258

E-mail: wadem2021@issjp.com

6. 日本開催の経緯

日本災害医学会の世界的な活動が認められ、第 22 回世界災害救急医学会 (WADDEM Congress 2021) を、オーストリア (ウィーン) ・アイルランド (ダブリン) といった強豪国 (市) をおさえて、日本 (東京) で開催することが、2017 年 4 月に WADDEM 国際本部の理事会において決定されました。

開催年	開催地	参加国数	参加者数	日本人参加者
2011 年 (第 17 回)	ビクトリア (カナダ)	47	800	10
2013 年 (第 18 回)	北京 (中国)	45	800	10
2015 年 (第 19 回)	ケープタウン (南アフリカ)	41	600	10
2017 年 (第 20 回)	トロント (カナダ)	60	900	20
2019 年 (第 21 回)	ブリスベン (オーストラリア)	50	800	20
2021 年 (第 22 回)	東京 (日本)	47	800	300

7. 日本開催の目的と意義

国際的な視点で災害対応をはじめとした病院前救急や公衆衛生施策、救急医療等の向上と各国間のより強い連携を図り、未来を担う若い研究者の国際的交流と研鑽の場とすることで、世界の災害医療の向上と未来の優秀な研究者の育成に貢献することを目的としています。

また、世界の災害医療の専門家に対して、わが国の災害医療の先進性をアピールする貴重な機会とするべく鋭意準備中です。

8. 開催計画の概要

1) 会議日程

会議日程	午前	午後	夜
5月10日(月)	設営 役員選挙	設営 参加受付 シンポジウム/同時セッション	ウェルカムレセプション
5月11日(火)	シンポジウム/同時セッション ポスター・企業展示	特別講演 開会式 ポスター・企業展示	会長招宴
5月12日(水)	シンポジウム/同時セッション	シンポジウム/同時セッション	ガラディナー
5月13日(木)	シンポジウム/同時セッション ポスター・企業展示	シンポジウム/同時セッション	
5月14日(金)	シンポジウム/同時セッション ポスター・企業展示	閉会式 市民公開講座	

2) 主要トピックス

プレナリーセッションテーマ

- ① Mass Gathering and Event Medicine
- ② CBRNE
- ③ Counterterrorism Medicine
- ④ Emergency Medical Teams (EMETs)
- ⑤ COVID-19
- ⑥ Tokyo Olympic Games 2020
- ⑦ The Great East Japan Earthquake

シンポジウムテーマ

- ① Natural Hazards
- ② Long term Disaster Response just to name a few
- ③ The Great East Japan Earthquake
- ④ COVID-19
- ⑤ Sendai Framework for Disaster Risk Reduction
- ⑥ Mass Gathering and Event Medicine

3) 参加予定者

国内	300名
海外	500名
合計	800名

4) 参加予定国 47ヶ国・地域

オーストリア、ベルギー、クロアチア、チェコ、グルジア、ドイツ、イギリス、ギリシャ、イタリア、オランダ、ポルトガル、セルビア、スペイン、スイス、トルコ、バングラディッシュ、中国、香港、インド、イラン、日本、クエート、ネパール、パキスタン、スリランカ、台湾、アラブ首長国連邦、エジプト、ナイジェリア、カナダ、ハイチ、メキシコ、アメリカ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、エクアドル、エルサルバドル、パラグアイ、ペルー、オーストラリア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ 等

5) 会議使用言語

英語、日本語

9. 寄附金を必要とする理由

第22回世界災害救急医学会はわが国の災害、救急医学分野の活性化に大きく寄与するものであります。総参加者数は海外500名、国内300名、計800名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は169,795,000円が見込まれています。これらの諸経費は、本来参加登録費等でまかなうことが建て前ではありますが、登録料を低額に抑えたいとの事由により総額169,795,000円から、参加費等自己負担額64,145,000円、補助金等20,000,000円、展示会・企業セミナー費75,650,000円を除く不足額、10,000,000円を諸企業及び諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。従いまして、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄附金にて充当したいと存じます。

10. 収支予算（案）

単位：円

収支区分	金額
(収入)	
1. 自己負担金（参加登録費等）	64,145,000
2. 諸収入等（展示会等）	75,650,000
3. 補助金／助成金等	20,000,000
4. 寄附金等	10,000,000
収入合計	169,795,000
(支出)	
1. 会議準備費	36,688,027
2. 会議運営費	81,160,064
3. 展示会等	33,212,200
4. 募金経費	75,000
5. 事後処理費	2,548,800
6. 全体消費税	15,435,909
支出合計	169,795,000

11. 寄附金募集要項

(1) 募金の名称

第22回世界災害救急医学会寄附金

(2) 募金の目標額

10,000,000円（総額円の内）

(3) 募金期間

2020年7月22日 ～ 2021年5月7日

(注：会議開催日前の銀行営業日まで)

(4) 寄附金の使途

第22回世界災害救急医学会の準備並びに運営に関する費用に充当します。

(5) 寄附金申込先

独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部交付金担当

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 10F

電話：03-5369-6015 ファックス：03-3350-3650

email:cvnews@jnto.go.jp

(6) 寄附金振込方法

別紙のフローチャート通りとなります。

別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。

寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。寄附金申込書受理書を受領後、指定口座番号にお振込ください。

(7) 税法上の扱い

この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。